

5 歳児保育指導案

- 1 日時・場所 平成 30 年 11 月 8 日 (木) 9 時 00 分～11 時 30 分
中筋幼稚園 園庭・保育室
- 2 対象児 5 歳児 まつ組 33 名 (男児 18 名 女児 15 名)
- 3 主な活動の内容 「秋の広場で遊ぼう」

4 幼児の姿

- 進級当初から体を動かすことを好む幼児が多く、いろいろな運動遊びを、できるようになるまで繰り返す姿があった。挑戦していることを、友達と見せ合ったり教え合ったりして刺激を受け合う様子も見られ、運動会後には新しい遊びや、より難しい遊び方もするようになった。また、鬼ごっこやサッカーなどの集団遊びでは、友達と誘い合い、必要な物を準備し、自分たちで進める姿も見られるようになった。
- 運動会を経験したことから、相手を意識して表現する様子が見られるようになってきた。ダンスやできるようになったことを人前で発表する発表ごっこの遊びが始まり、観客を意識して表現の仕方や進行を考える姿が見られるようになった。レストランや秘密基地でのごっこ遊びでは、誘い合って遊びを始め、互いの立場でルールを考えたり役割を決めたりして、一緒に遊びを進める楽しさを味わっている。友達に自分の思いと一緒に理由を伝え、イメージを共有しようとする姿も見られるようになった。
- 4 歳児との関わりが増え、一緒に運動遊びやサッカー、ごっこ遊びをする姿が見られる。また、遊び方を教えたりルールを知らせたりすることを喜ぶ姿がある。しかし、一方的に思いや考えを通したり、伝えられずに我慢したりする姿が見られる。

5 指導にあたって

- 幼児が自分たちで遊びの準備をしたり時間や場所に見通しをもって活動したりできるよう、環境を整えていきたい。また、一緒に遊び幼児の思いに寄り添いながら、環境を再構成することで、主体的に遊びを進める楽しさが味わえるようにしていきたい。
- 集団遊びやごっこ遊びの中で、互いの思いを十分出し合えるよう見守り、必要に応じて、適切な方法に気付かせる援助の工夫を行っていきたい。自分の思いを十分表現するとともに、相手の思いに気付いたり共感できたりするよう援助することで、友達と一緒に表現することの楽しさが味わえるようにしていきたい。
- いろいろな友達との関わりの中で起こるトラブルに丁寧に関わり、思いの伝え方を一緒に考えるよう援助していきたい。

6 ねらい・内容

- 友達と一緒に思いや考えを伝え合いながら遊びを進める楽しさを味わう。
 - ・ 友達と考えを出し合いながら遊びを進める。
 - ・ 考えたり工夫したりしながら遊ぶ。
 - ・ いろいろな友達と関わりながら遊ぶことを楽しむ。